



森づくりサポーターニュース

令和3年(2021年)9月30日号

びわこ地球市民の森(森づくりセンター)

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312

メールアドレス biwako@moridukuri.info URL <http://www.moridukuri.info>

誕生から20年の森を考える! (2)

まず、「びわこ地球市民の森」の森づくりの目的はいくつかありますが、環境対策や地球温暖化対策は大きな目的のひとつです。

「植物は光合成をしています。見かけ上、CO₂を吸ってO₂を出します。」このことを学校で習った瞬間、「植物は大切にせなあかん! 増やさなあかん!」と思いませんでしたか? 温室効果ガスのひとつ、CO₂を吸収して蓄えるのは樹木です。しかし、植物も呼吸(O₂を吸ってCO₂を出す)をしています。呼吸で出すCO₂の量よりも、光合成で吸収するCO₂の量が多いこと、つまり森の樹木が「元気に成長している」ということが重要です。

さて、これからの森づくりは、育てるとともに使うために伐ることも大切です。つまり材料として利用することと、森を活用するための空間づくりです。

昔は、炭や薪、食料、肥料・堆肥の調達など、森(里山)と人の生活とは密接に関わり合っていましたが、都市が発達し石油やガスが普及して以降、徐々に関わる必要がなくなり、森は「やぶ」化していきました。不法投棄や防犯上の問題も発生しています。

ただ大きな樹がたくさんあるだけではない、「森」と気軽に関われる場所や機会を創ることも「森づくり」と考えます。以前「遊具の周りに日陰がほしい。」という要望がありましたが、森の間伐がすすみ、木立の中にシートを広げて過ごされている姿がありました。また、間伐をして、切った枝を積んでおいたら、子ども達がその枝や丸太で秘密基地(?)をつくって遊んでいました。



秘密基地(?)

森づくりサポーターの皆様には、「やりがい」や生き甲斐の場として、あるいは仲間が集う場として、この「びわこ地球市民の森」をご活用ください。



つどいのゾーン地球広場 2001年植樹



20年経ちました!(つどいのゾーン)

みんなが、植えて(植樹)育てて(育樹)つかって(利・活用)受け継ぐ(継承)
この森がいつまでも続きますように。

第2回森づくりサポーター活動開催！

令和3年7月24日（土）、真夏の太陽がぎらぎらと照りつける非常に暑いなか、今年度の第2回森づくりサポーター活動が開催されました。

例年、「森のつどい」と併せて実施している第1回森づくりサポーター活動が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となりましたので、今回が今年度最初のサポーター活動となりました。

当日は、森づくりサポーター105名、ガールスカウト24名、計129名の多くの皆さんが参加し、江見所長のあいさつと作業内容の説明があったあと、森の中での活動が始まりました。

森づくりサポーターの皆さんは、平成23年～24年に植栽された里の森ゾーンで、アラカシ、シラカシ、ヤマモモなどの常緑樹と、ヤマザクラ、ムクノキ、コナラなどの落葉広葉樹が混み合った森の間伐と枝払い作業を行いました。

夏空のもと暑い中での作業でしたが、サポーターの皆さんは熱心に作業に取り組み、森は明るさを増して爽やかな風が森の中に行きわたり緑の木々が一層元気になったように見えました。



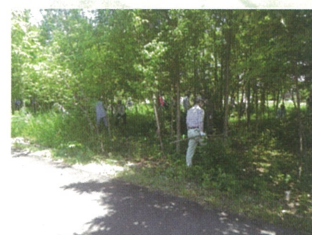
開会式の様子



開会挨拶



作業説明



里の森ゾーンでの森の活動（間伐、枝払い作業）

一方、ガールスカウトの皆さんは、江見所長の指導のもと、森づくりセンター周辺で見られる草花を観察し、気に入ったものを自分で選びスケッチをして楽しみました

夏の暑いこの時期でも可憐な花を咲かすカワラナデシコやキキョウ、オミナエシ、ハギなどの秋の七草や、アカツメクサ、ヒメジョオンなどを採取し虫めがねで花びらの色や形、特徴をしっかりと見ながら綺麗に描き、オリジナルの可愛い作品ができ上がりました。



森づくりセンター周辺の自然観察



採取した花びらのスケッチ



スケッチ作品

活動後は参加者全員で冷たい食べ物を賞味し、作業の疲れが少し癒されました。

当日は、新型コロナウイルスの影響が続くなか、また真夏の暑い天候のもと、久しぶりに皆さんが集い自然の中で体を動かして、森も活気が戻ったように感じました。参加していただきました皆様、本当にありがとうございました。

次回のサポーター活動は、令和3年10月31日（日）に予定しています。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

びわこ地球市民の森で自然体験キャンプ（夏）

令和3年8月、びわこ地球市民の森で子どもたちを対象にした自然体験キャンプ「森のようちえん・ファミリー」と「昆虫ハンターキャンプ」を実施しました。

「森のようちえん・ファミリー」は、8月1日（日）、園児、保護者30名の参加により、ヨシ刈り体験や魚のすみか作りを楽しみました。まず、集合場所の里の森ゾーンから活動地のふれあいゾーンまで、炎天下の中みんなで力を合わせて台車を引き荷物を運びました。ひらっち（平塚先生）指導のもとふれあい池の水路でのヨシ刈り体験では、保護者がしっかりサポートしながら、親子でカマを持ちヨシを刈りました。そのあと刈り集めたヨシを束ねて屋根を作り、魚のすみかの完成です。シートなどは使用せず、森の自然物を活用することで自然の大切さを学びました。

昼食後は家族一緒に、水鉄砲でおもいきり水遊びを楽しみました。後日「魚のすみか」を見に行くと、鳥が近くまで寄って来ていました。水路の魚が集まっているのでしょうか。



荷物を運ぶぞ〜！



ヨシ刈り体験



魚のすみか



家族一緒に水遊び

「昆虫ハンターキャンプ」は、8月7日（土）・8日（日）、小学生37名の参加のもと、昆虫採集を楽しむ宿泊型キャンプを実施しました。

「おまがりぼたるを守る会」の協力をいただき、ホタルの幼虫の光る姿と、田んぼで光っている数匹のヘイケボタルを観ることができました。

カブトムシなどの採集では、バナナトラップの仕掛けや、図鑑で名前や特徴を調べるなど、昆虫三昧のキャンプとなりました。採取した昆虫は、手に取り観察したあと森に返しました。また、ウォーターワールド（水遊び、水のかけ合い）も楽しみました。



ウォーターワールド



昆虫発表会

新型コロナウイルス感染防止を講じた安全・安心な環境で、今後も多くの子ども達に自然体験の場を提供できればと思います。



誕生から20年! 森はこんなに大きくなりました。

つどいのゾーンの地球広場<平成13年(2001年)滋賀県植樹のつどいの会場>

植樹後2年目の森の様子<平成14年(2002年)撮影> 当時植樹した苗木は50cm程度でした。



20年経過した現在の森<令和3年(2021年)撮影> 樹木は10mを超え後方の人家や山並は全く見えなくなりました。



滋賀県植樹のつどいの会場



当時の植樹の様子



◇森全体の成長の様子は、展示コーナーで写真掲示をしていますので、是非ご覧ください。

お知らせ

- 「びわこ地球市民の森のつどい2021」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました
- 「第3回森づくりサポーター活動」は、予定どおり下記の日程で開催します。

開催期日 令和3年10月31日(日) 9:00~12:00

開催場所 びわこ地球市民の森(つどいのゾーン)

活動内容 植栽地の育樹活動と自然教室など

※なお、コロナ感染状況により、活動内容の変更または中止になる場合がありますのでご了承ください。



編集後記

7月に開催したサポーター活動は、夏空のもと、130名近くのサポーターの皆さんの参加により、予定どおり森の作業と自然観察会を行うことができました。

最近、コロナや天候不順のため活動の中止や延期がたびたびある中、今回は久しぶりに森に歓声があがるなど、木々もサポーターの皆さんの熱気で一段と元気になったように感じました。

早くコロナ禍から解放され、安心、安全な森の活動ができる日を待ち望んでいます。

森のデータ

森の面積	42.5ha
森の延長	3.2km
森の幅	100~200m
植樹面積	80,808㎡
植樹期間	H13~H25
植樹活動参加者数	44,994人
植樹本数	160,967本
森への利用者数(R2)	226,600人
森づくり活動参加者数(R2)	2,744人
うち育樹活動参加者数(R2)	2,152人